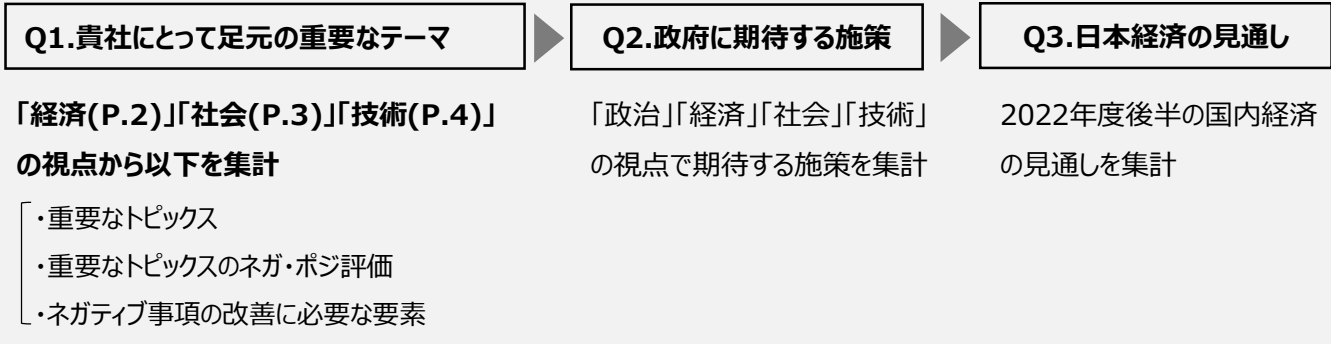


設問構成



結果サマリー

Q 1. 足元の経済・社会情勢において、重要度の高いテーマ

経済 P.2

⇒ 6割超が「資源価格の動向」に注目。うち、8割超の方が「ややネガティブ」「ネガティブ」と後向きに評価。状況改善に向けて3割は「打ち手なし」と悲観的な回答。

社会 P.3

⇒ 6割超が「多様な働き方への対応」に注目。コロナやSDGsの高まり等によって変化した現在の社会情勢については、概ねポジティブに捉えられている様子。

技術 P.4

⇒ 6割超が「IoT、ICTなどの活用によるビジネス変革」に注目。前向きな関心が大勢であるが、仮想通貨、仮想空間については評価が分かれた。不足する資源として「ヒト」を挙げる声も。

Q 2. 今後、政府に期待する施策

「経済・産業活性化策の強化（53.2%）」が多く、足元のビジネス環境の安定化が望まれている。

Q 3. 2022年度後半の日本経済の見通し

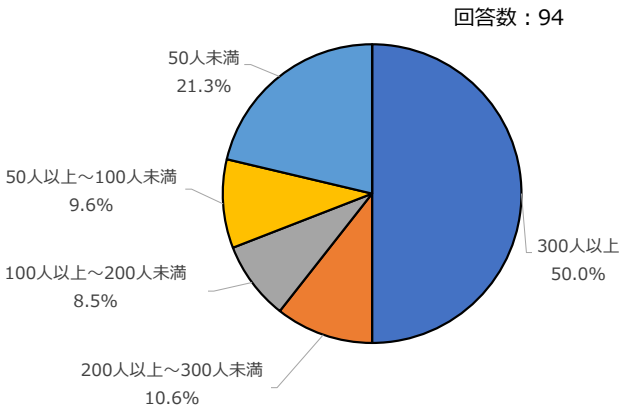
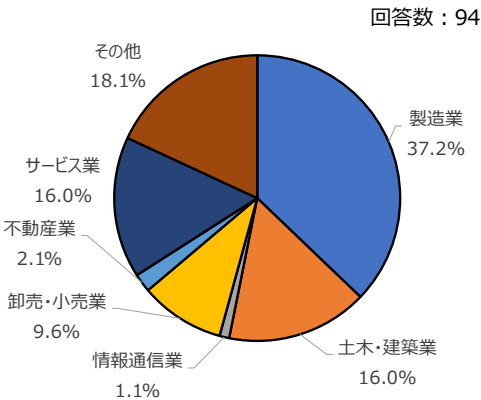
前向きな評価（46.8%）が、後向きな評価（14.9%）を上回る。

Q. 業種

(単一回答)

Q. 従業員数

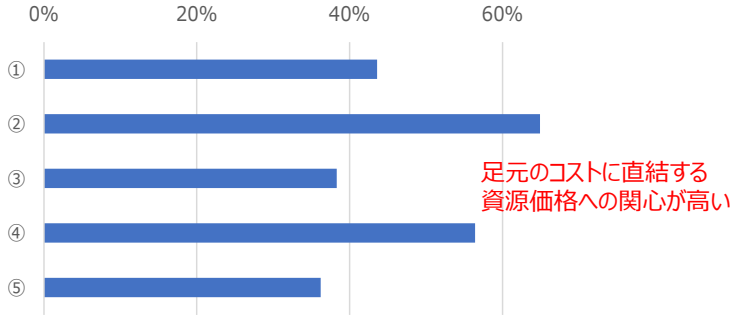
(単一回答)



Q1. **経済** 貴社にとって重要度の高いテーマは何ですか。（経済・社会・技術）

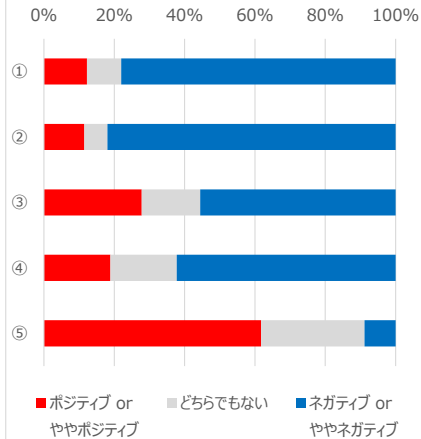
Q1-1-1. 「**経済**」で重要度の高い項目は？以下より3つまで選択してください。（3つまで回答）

項目	n
①金融市場の動向	41
②資源価格の動向	61
③サプライチェーンの動向	36
④人材市場の需給動向	53
⑤新たな産業、事業の創出	34



Q1-1-2. 前の設問で選んだ項目の捉え方は？（ポジティブ～ネガティブ）（単一回答）

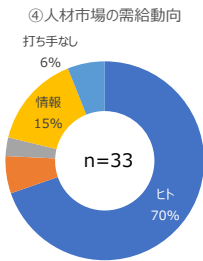
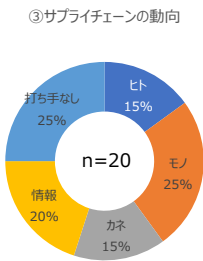
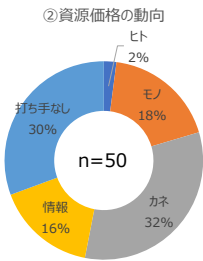
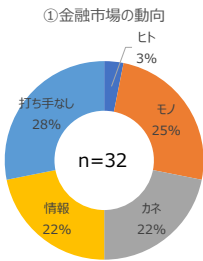
項目	n	ポジティブ or ややポジティブ	どちらでもない	ネガティブ or ややネガティブ
①金融市場の動向	41	5	4	32
②資源価格の動向	61	7	4	50
③サプライチェーンの動向	36	10	6	20
④人材市場の需給動向	53	10	10	33
⑤新たな産業、事業の創出	34	21	10	3



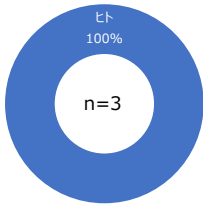
不安定な金融・資源の動向には6割以上がネガティブな評価

Q1-1-3. 「ややネガティブorネガティブ」な項目について、解決に必要な要素は？（単一回答）

項目	n	ヒト	モノ	カネ	情報	打ち手なし
①金融市場の動向	32	1	8	7	7	9
②資源価格の動向	50	1	9	16	8	15
③サプライチェーンの動向	20	3	5	3	4	5
④人材市場の需給動向	33	23	2	1	5	2
⑤新たな産業、事業の創出	3	3	0	0	0	0



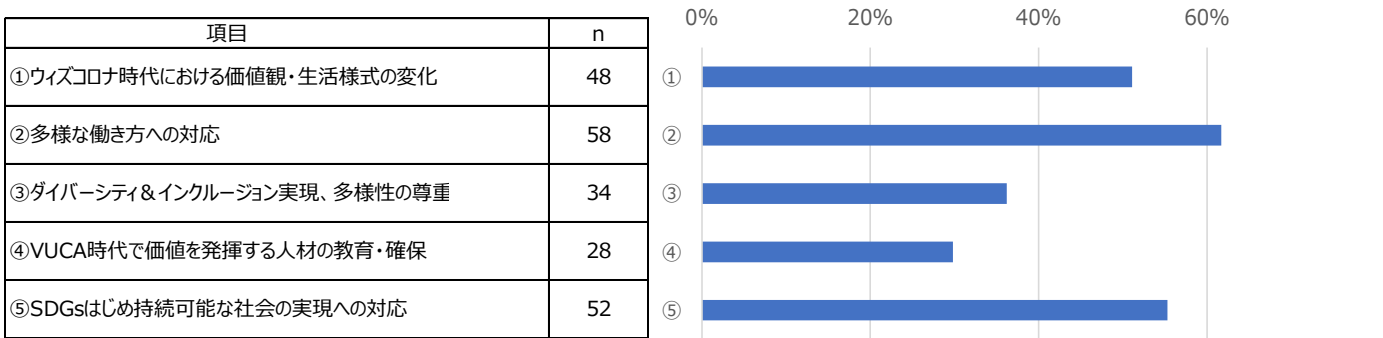
⑤新たな産業、事業の創出



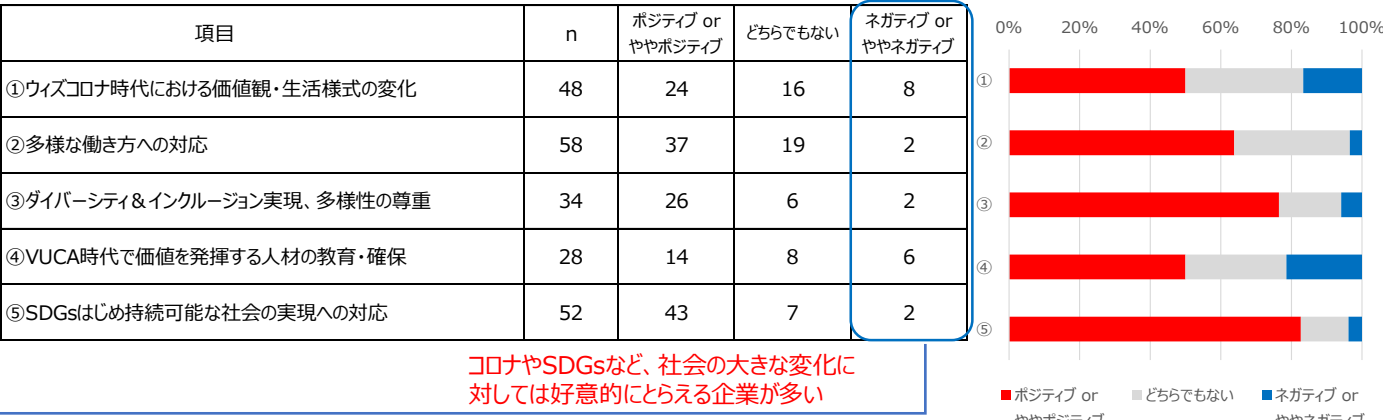
「①金融市場の動向」「②資源価格の動向」「③サプライチェーンの動向」に対して、「打ち手なし」という回答がいずれも25%を超える。
外部環境に依存するタイプの項目であり、企業努力での対応には限界があることが伺える。

Q1. 社会 貴社にとって重要度の高いテーマは何ですか。（経済・社会・技術）

Q1-2-1. 「社会」で、重要度の高い項目は？以下より3つまで選択してください。（3つまで回答）

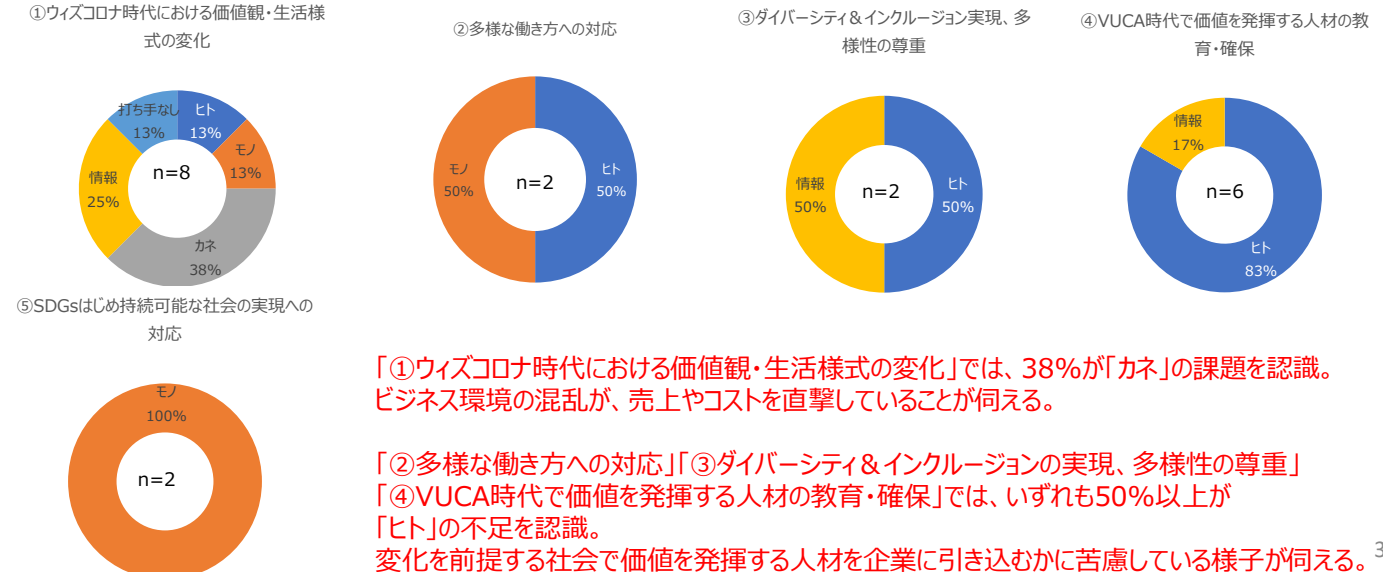


Q1-2-2. 前の設問で選んだ項目の捉え方は？（ポジティブ～ネガティブ）（単一回答）



Q1-2-3. 「ややネガティブorネガティブ」な項目について、解決に必要な要素は？（単一回答）

項目	n	ヒト	モノ	カネ	情報	打ち手なし
①ウイズコロナ時代における価値観・生活様式の変化	8	1	1	3	2	1
②多様な働き方への対応	2	1	1	0	0	0
③ダイバーシティ&インクルージョン実現、多様性の尊重	2	1	0	0	1	0
④VUCA時代で価値を発揮する人材の教育・確保	6	5	0	0	1	0
⑤SDGsはじめ持続可能な社会の実現への対応	2	0	2	0	0	0

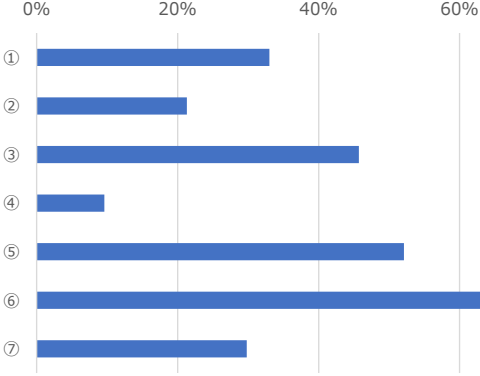


Q1. 貴社にとって重要度の高いテーマは何ですか。（経済・社会・技術）

技術

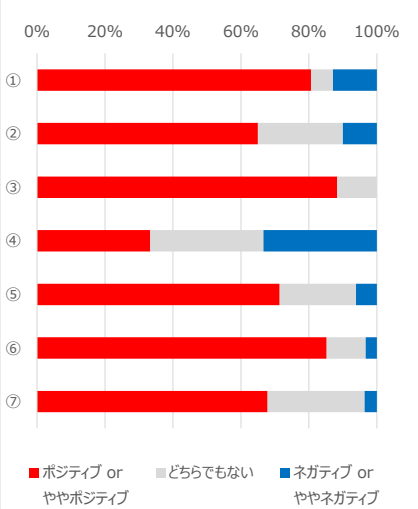
Q1-3-1. 「技術」で、重要度の高い項目は？以下より3つまで選択してください。（3つまで回答）

項目	n
①R&Dなどの強化による技術革新	31
②スタートアップなどの協業による価値創出	20
③AIやデータサイエンスなどの活用による価値創出	43
④仮想通貨、仮想空間などによる新しい経済圏の勃興	9
⑤脱炭素領域（GX）に関連する技術進歩	49
⑥IoT、ICTなどの活用によるビジネス変革	61
⑦情報化社会に対応したしくみ構築	28



Q1-3-2. 前の設問で選んだ項目の捉え方は？（ポジティブ～ネガティブ）（単一回答）

項目	n	ポジティブ or ややポジティブ	どちらでもない	ネガティブ or ややネガティブ
①R&Dなどの強化による技術革新	31	25	2	4
②スタートアップなどの協業による価値創出	20	13	5	2
③AIやデータサイエンスなどの活用による価値創出	43	38	5	0
④仮想通貨、仮想空間などによる新しい経済圏の勃興	9	3	3	3
⑤脱炭素領域（GX）に関連する技術進歩	49	35	11	3
⑥IoT、ICTなどの活用によるビジネス変革	61	52	7	2
⑦情報化社会に対応したしくみ構築	28	19	8	1

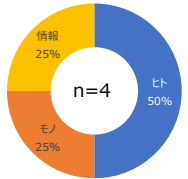


IT化やDXなどによる生産性の向上への期待感が伺える。
仮想通貨・仮想空間については評価が分かれた。

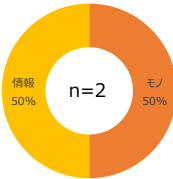
Q1-3-3. 「ややネガティブorネガティブ」な項目について、改善に必要な要素は？（単一回答）

項目	n	ヒト	モノ	カネ	情報	打ち手なし
①R&Dなどの強化による技術革新	4	2	1	0	1	0
②スタートアップなどの協業による価値創出	2	0	1	0	1	0
③AIやデータサイエンスなどの活用による価値創出	0	0	0	0	0	0
④仮想通貨、仮想空間などによる新しい経済圏の勃興	3	3	0	0	0	0
⑤脱炭素領域（GX）に関連する技術進歩	3	1	2	0	0	0
⑥IoT、ICTなどの活用によるビジネス変革	2	1	0	1	0	0
⑦情報化社会に対応したしくみ構築	1	1	0	0	0	0

①R&Dなどの強化による技術革新



②スタートアップなどの協業による価値創出



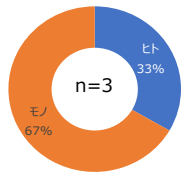
③AIやデータサイエンスなどの活用による価値創出

n=0

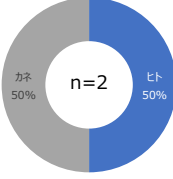
④仮想通貨、仮想空間などによる新しい経済圏の勃興



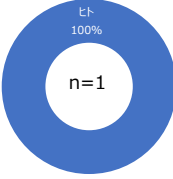
⑤脱炭素領域（GX）に関連する技術進歩



⑥IoT、ICTなどの活用によるビジネス変革



⑦情報化社会に対応したしくみ構築



総じて、技術進歩に対応するための「ヒト」の不足を認識。高度な専門性を有する人材の確保・育成の必要性が伺える。

「②スタートアップなどの協業による価値創出」では、「情報」の不足が認識され、接点構築の必要性が伺える。

Q2.足元の動向をふまえ、今後、政府に期待する政策は何ですか？

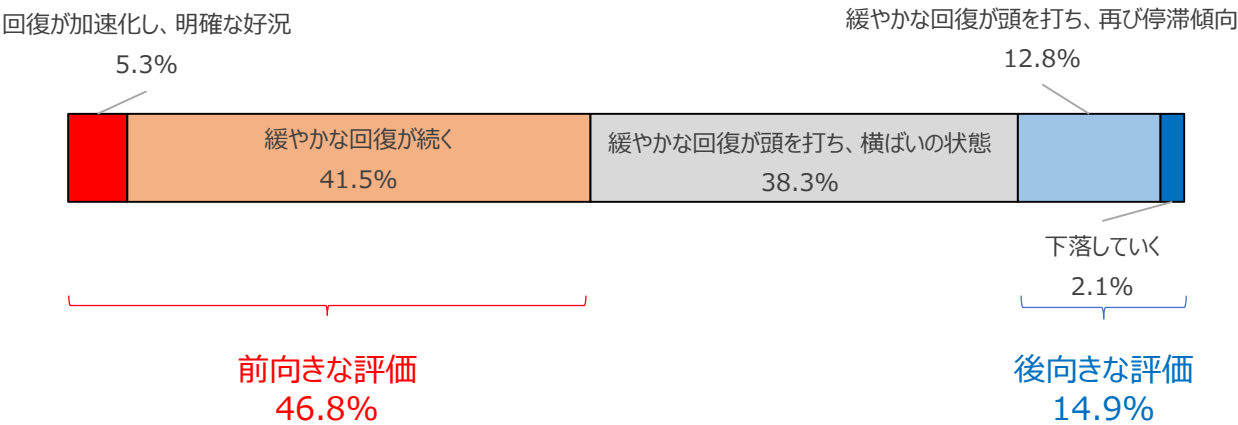
(3つまで回答)

項目	n	割合
①【政治】国際機関・多国籍経済連携協定等の国際経済秩序の維持・強化（外交姿勢）	28	29.8%
②【政治】経済・産業活性化策の強化（財政政策）	50	53.2%
③【経済】金融市場の安定化（金融政策）	32	34.0%
④【経済】サプライチェーンの強靱化に向けた支援（助成・税制優遇・情報提供）	28	29.8%
⑤【経済】人材確保・育成に取り組む企業支援（雇用・社員教育による優遇措置）	34	36.2%
⑥【経済】R&D、オープンイノベーション等による技術革新支援（イノベーション活動による優遇措置等）	13	13.8%
⑦【社会】新型コロナウイルス感染症抑制に向けた号令・施策	8	8.5%
⑧【社会】働き方や多様性を尊重する企業の取り組み支援（ダイバーシティ活動による優遇措置等）	16	17.0%
⑨【社会】イノベーション人材の育成に向けた支援（学校教育、リカレント教育等）	13	13.8%
⑩【技術】DXに向けた取り組みの支援（関連領域の優遇措置）	29	30.9%
⑪【技術】GXに向けた取り組みの支援（関連領域の優遇措置）	15	16.0%
⑫その他	3	3.2%

「②経済・産業活性化策の強化（財政政策）」（53.2%）となり、足元のビジネス環境の底上げに期待する声が多い。
「⑤人材確保・育成に取り組む企業支援」（36.2%）への期待の大きさから、コロナやDX・GX等、新しいビジネス環境のなかで、
価値を発揮できる人材をいかに育成するかに悩む企業が多数。

Q3.2022年度後半の日本経済はどのようになるとお考えですか？

(単一回答)



前向きな評価（46.8%）が後向きな評価（14.9%）を上回り、2022年度後半の経済環境は横ばい〜回復傾向にあると予想される方が大勢。